

(参考)

流動負債（未払金など）の額が、流動資産（現金・預金・未収金など）の額を超過する、いわゆる「不良債務」は発生していないため、病院経営に支障はありません。

赤字の主な要因は、中央病院の現金の支出を伴わない費用「減価償却費」です。

病院を建て替えたため、第一期開院後の平成14年度から約20億円、第二期開院後の17年度からはさらに数億円の費用が発生し、収益を圧迫しています。

【単位：千円】

年度	減価償却費	その他特別損失	その年度の純損失
H13	600,520		8,558
H14	2,078,940	2,007,048	3,854,295
H15	2,084,796		762,169
H16	2,170,590		1,944,685
H17	2,618,842	1,671,263	3,846,543
H18	2,546,700		1,831,967
H19	2,201,510		1,545,519

病院の建替時に、
既存建物を除却した分（現金支出は伴わない）

「減価償却」とは
長期間にわたって使用する建物や機器などの固定資産の取得原価を、耐用年数に応じて費用として配分する手続きのこと。